

家畜体内受精卵移植（E T）に関する講習会を開催

E Tで生産された和牛子牛は、年間180頭がせり市に上場され、また、60個の乳牛受精卵が移植されるなど牛の増頭・改良を進める上で、E Tは欠かせない技術となっています。今回、E T技術の普及のため、畜産センター及び碓高原牧場を会場に、11月18日までの17日間、講習会を開催しました。受講者は、受精卵の処理や移植などの学科と実習を熱心に受講し最新のE T技術を習得しました。



実習牛（乳牛）を使って受精卵移植を繰り返し実習しました